

安心クラスをつくろう

中学校・1年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「参加・参画」） =【人権感覚育成のための視点】

事例上のクラスでのいじめ問題に対する解決方法を考え、話し合う活動を通して、よりよい集団の実現を目指して他者と連携し、積極的に集団に参加・参画していくようにする。

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2）日常への生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
(ア) 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の尊重)

3 人権教育上の視点

- (1) よりよい集団づくりに、主体的に参加・参画する態度を身に付けていく。(価値・態度)
- (2) 日常生活の中から、よりよい集団づくりにつながる課題に自ら気付くことができる。(技能)

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

ワークシート1を読み、この事例のクラスの問題点を個人でできるだけ多く見付けて、ワークシート2に記入する。

○活動2

個人で見付けた問題点をグループ（3～4人）で出し合い、その解決方法について、事例の登場人物ごとにどうすればよいかを話し合う。

○活動3

本時の学習を振り返り、自分たちの学級をよりよい集団にするために、自分たちの学級の課題について考える。

2 準備するもの

- ワークシート1、2

3 アクティビティーの進め方

○活動1 「安心クラスについて考えよう」

- ① ワークシート1の場面設定を読む。
- ② 個人で、この事例のクラスの問題点を見付け、ワークシート2に記入する。
- ③ 見付けた問題点を発表する。

○活動2 「私のクラスは安心クラス？」

- ① この事例のクラスを「安心クラス」にするためには、どんな解決策があるか、グループ（3～4人）で話し合う。
- ② それぞれの登場人物がどう行動すればよいか、話し合ったことを発表し、学級全体で共有する。

○活動3 「振り返り」

- ① 本時の学習を振り返り、自分たちの学級をよりよい学級にするために、積極的に関わっていきたい学級の課題について考える。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 事例のクラスでのいじめの解決方法について考え、話し合うことで、いじめ問題への関心を高めることにとどまらず、自分のクラスの課題にも目を向け、よりよい集団づくりに主体的に参加・参画する意欲を高める契機にする。
- いじめの問題点を具体的にとらえるために、まず事例中の登場人物ごとに問題点を考えさせるが、個人の問題点としてのみとらえることがないように留意して、集団としての問題点にも目を向けさせ、よりよい集団づくりとは何かについて考えさせるようにする。
- 学級の実態に応じて、トラブルの場面や内容を設定してもよい。
- 例えば、新しい学級に慣れてきた5月の連休後や、大きな学校行事の前に生徒一人一人の積極的な関わりを意識させたいときなどに実施すると効果的である。

III 授業の実際

時間	学習活動 発問（T） 生徒の反応例（S）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
10分	<p>1 アイスブレイキング</p> <p>T グループ（3～4人）になり、全員の共通点ができるだけ多く見付け、書き出しましょう。</p> <p>T それぞれ見付けた共通点や感想を各グループで発表しましょう。</p> <p>S 好きな芸能人が同じ。</p> <p>S 登下校の方向が同じ。</p> <p>S パンが好き。</p> <p>S 意外に共通点があった。</p> <p>S ○君も同じ芸能人が好きということを初めて知った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共通点が見付からずに戸惑っているグループがあれば、そのグループの共通点を、例として一つ示す。 ・共通点があると親近感をもつようになることに気付かせるとともに、共通していない点にも意識させ、違いを尊重し合うことの大切さを考えさせる。
35分	<p style="text-align: center;">安心クラスをつくろう</p> <p>2 課題の設定</p> <p>T ワークシート1を読んで、この事例のクラスの問題点を見付けましょう。</p> <p>T この事例のクラスの問題点は何ですか。</p> <p>S Cさんに対して、誰も何も言えない。</p> <p>S 一緒にいたBさんは、逃げてしまう。</p> <p>S Dさん、Eさんは、見ているだけ。</p> <p>S Fさんの声掛けに対するAさんの返答も問題。</p> <p>S こんなことがまかり通る人間関係、雰囲気がだめ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に自由に考えさせ、できるだけ多くの問題点を見付けさせる。 ◎事例の中から、いじめ問題に具体的に気付くことができるよう、まず事例の中の登場人物ごとに問題点を考えるよう助言する。（技能） ・登場人物個人の問題点としてのみとらえないように留意し、集団としての問題点はないかという視点も示唆する。

	<p>3 話合い</p> <p>T この事例のクラスを安心クラスにするためにはどんな解決策があるかを、グループ（3～4人）になって話し合ってみましょう。</p> <p>T 登場人物がそれぞれどう行動すればよいか、グループで話し合ったことを発表してください。</p> <p>S Aさんは、助けが必要だということを素直に伝える。</p> <p>S Bさんは、その場から逃げずに、Aさんを助ける。</p> <p>S Cさんを止める。1人では止められなくても、みんなで声を出す。</p> <p>S どういう行為がいじめなのか、学級会で議題として話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安心して過ごせる、全ての人が居心地がよいという点を意識するよう促す。 それぞれの登場人物がどう行動すべきか考えさせる。 <p>◎この事例のクラスの問題点について、解決方法を主体的に考えるために、もし自分がこのクラスの一員いたらどう行動するかと問い合わせる。（価値・態度）</p> <ul style="list-style-type: none"> A～Cさん個々の行動改善だけでなく、D～Eさんも含めて、クラス集団としての改善の視点も示唆する。
5分	<p>4 振り返り</p> <p>T 今日の学習を通して、気付いたことや感じたこと、自分たちのクラスをよりよいクラスにするために、自分がしていきたいことを書きましょう。</p> <p>S いじめは絶対にだめ。</p> <p>S 解決方法を考えるだけでなく、実際に行動しないと何も変わらない。</p> <p>S みんなでよいクラスをつくりていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学級の課題に目を向けさせ、解決方法を考えさせる。 ねらいに沿った内容を書いている生徒の感想を発表し、学級全体で共有できるようにする。

IV 資料

(1) ワークシート1

安心クラスについて考え方

年 組 番 名前 _____

これから紹介する場面を通して、誰もが安心できるクラスにするためには、どうしたらよいか考えてみましょう。

ある日の昼休みのことです。AさんとBさんが話をしているところにCさんが来ました。

Aさん : 「見て見て、これ昨日買ったんだ！」

新しく買ったボールペンを見せる。

Bさん : 「おー、これ今流行ってる有名なボールペンじゃん！ どこで買ったの？」

Cさん : 「(Aさんの肩をたたいて) お前たち、何の話をしてんの？」

Aさん : 「(痛つ！) えーと、昨日買ったこのボールペンのこと。」

Cさん : 「おー、今流行ってるやつじゃん！ これ欲しかったんだよな～。やつ
ぱかっこいいよなー。ちょっと貸せよ！」

CさんがAさんから乱暴にボールペンを取る。

Aさんは弱々しく笑っています。

Cさん : 「ということは、こっちの古くなったボールペンはいらないよな？」

Aさんの筆箱から、古いほうのボールペンを勝手に取る。

その様子を見ていたDさんとEさんは、小さな声で「なんでAさん、
断らないんだろうね。」と話しています。

Cさん : 「おい、Bも欲しかったら、他の持つていけよ。」

Bさん : 「……。」

Bさんは迷惑そうに顔を上げ、違う友達のところに行きました。

Cさん : 「ちえつ、なんだよ。いらないのかよ。」

そう言って、CさんはAさんの古いボールペンを持って、どこかへ
行ってしまいました。DさんとEさんは、何事もなかったかのように
2人で別の話を始めました。

この様子を見ていたFさんは、Aさんがかわいそうになり、Aさん
に声をかけました。

Fさん : 「Aさん、大丈夫？」

Aさん : 「別に。あれ、ちょうど捨てようと思ってたやつだし……。」

Aさんはそう答えました。

(2) ワークシート2

私のクラスは安心クラス？

年 組 番 名前 _____

- 1 この場面の問題点は何だと思いますか。あなたの意見を書きましょう。

- 2 このクラスを誰もが安心できるクラスにするためには、それぞれ登場人物はどうすればよいと思いますか。あなたの意見を書きましょう。

- 3 今日の学習を通して、気付いたことや考えたことを書きましょう。また、自分たちのクラスの課題や、今後、クラスをよりよくするために自分が意識して行動しようと思うことを書きましょう。